

令和5年度 実務者会報告

自立支援協議会 第2回本会議資料

① 令和5年 実務者会の全体の流れ



実務者会実績

次年度専門部会での取組み案についてとりまとめた。

第2回
実務者会

たたき台案を3つにまとめた。

- | | | |
|---------|--------------------|-----------------------------|
| ① 情報の周知 | 情報が足りない。不安。 | 既存の情報ツールをもっと活用しよう。 |
| ② 繋がり | 本人のことを知ってもらう機会がない。 | ふれあいイベントなどを開催しよう。 |
| ③ 動画活用 | 情報の精査ができない。 | 動画などの視覚情報を活用して情報を判りやすく伝えよう。 |

第3回
実務者会

テーマと取組み案をまとめた。

テーマ:「情報」の普及・浸透

- ① 今年度の専門部会での取組みに、動画を活用して、わかりやすく必要な情報が提供できれば、当事者やそのご家族の今の不安、将来の不安を解消することが出来るのではないか。
- ② 情報の提供ツールや窓口はたくさんある。既存の情報ツールを見直し、より届きやすくわかりやすくすれば、正しい情報をきちんと伝えられ、欲していた解決策の具体的なイメージが持てて、「情報の迷子」がいなくなるのではないか。

取組み案①について今年度専門部会に打診することとなった。

第4回
実務者会

テーマ 情報の普及・浸透。～文字だけでは伝わらない。写真や動画を使ってイメージすることで気軽につながれるように～。

- 既存の紙媒体、ホームページではわかりにくい。もっとタイムリーに情報がほしい。
- 免許更新センターの流れのように相談の流れをもっとわかりやすくしてほしい。
- 情報が欲しいと思ったときに必要な情報が欲しい。必要のない時にもらっても困る。
- もっと気軽に必要な時に相談できる窓口が欲しい。
- 今も将来もどうしたらいいかわからず、適切な情報も得られず不安が募っている。

上記のような『困りごと』『要望・ニーズ』を解消するために、今年度の専門部会の「ライフステージを見通せるツール」の情報がより普及・浸透するために、動画や画像など視覚情報を使うことで、イメージしやすく、気軽につながる流れを作る取組みを行う事となった。

今年度取組みの基準

1. 文字情報のわかりにくさを動画などで解消できるようになっているもの。
2. 相談窓口などにつながる「手順」を判りやすく、つながる先の「イメージ」ができるようにすることで気軽につながれるようになること。
3. 今年度のライフステージツールとの相乗効果が期待できるように色々な既存ツールとの連携が考慮されているもの。

実務者会実績 **専門部会の評価・実務者会の振り返りについて取り組んだ。**

昨年度までは「評価」についてきちんと実施できなかった。今年度は「評価基準」を明確化。

評価の目的

専門部会の取組みの成果が適切に得られたか？次年度にも継続して取り組む必要があるか？

実務者会として専門部会に引き継いだ取組み案が適切なものだったか？目標として課題解決が達成できたか？

1 令和4年度の取組みについて評価した

専門部会での取組み「居場所づくり」について、第1回実務者会(5月)で振り返りを実施した。

- 評価シートを用いて評価を実施。
- 評価方法の一つの方法として実施するにとどまる。

2 令和5年度の取組みについて評価予定

令和5年度専門部会を構成員が傍聴。専門部会構成員に振り返りシートを記入してもらい、それを元に実務者会として評価。

- 専門部会への引継ぎについて評価
- 実務者会の仕組みについて評価

取組みのテーマ、取組みの目的、取組みにより解消したい困りごとやニーズを明確にし、次年度の評価基準を明確化し、次年度の専門部会の評価につなげる。